Bose® FreeSpace® 4400 System User Interfaces

FreeSpace®4400 System AVM 1-Zone コントローラー取扱説明書
FreeSpace®4400 System AVM 2-Zone コントローラー取扱説明書
FreeSpace®4400 System Page コントローラー取扱説明書

※説明の便宜上、イラストは実物と異なる場合があります。

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

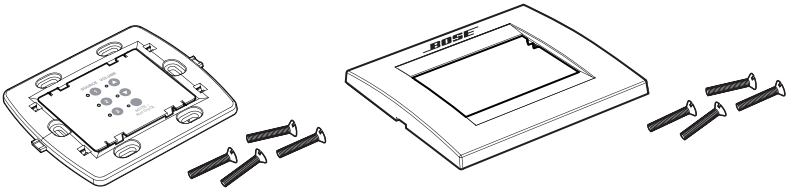
△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

⚠ 警告	電源プラグをコンセントから抜け	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因 となります。必ず電源プラグをコンセントから抜いてくださ い。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 ●万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一、内部に異物などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
		●電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	水場での使用禁止	●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 警告	使用禁止	●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
		●指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
		●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
		●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。 ●この機器の上に、ろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。
	分解禁止	●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。 ●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。
		●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 ●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 ●電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
		●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。
		●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 ●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

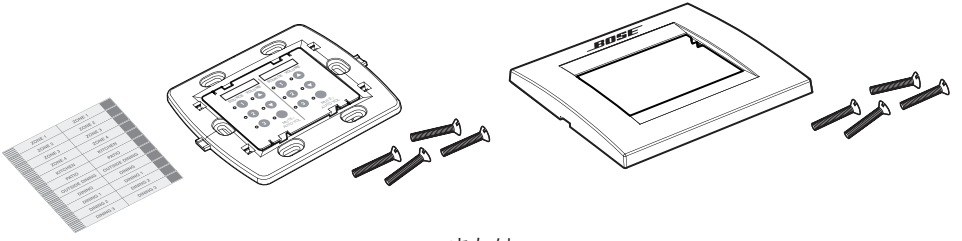
Provided in carton

FreeSapce® 4400 System AVM1 ゾーンコントローラー



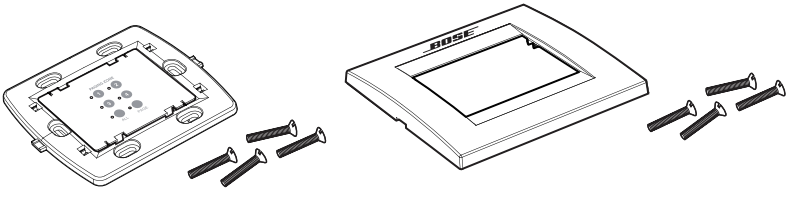
または

FreeSapce® 4400 System AVM 2 ゾーンコントローラー



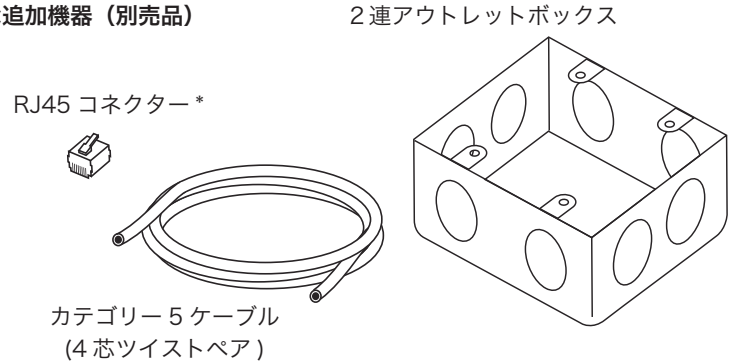
または

FreeSpace® 4400 System PAGE（ページング）コントローラー



Also needed (not provided)

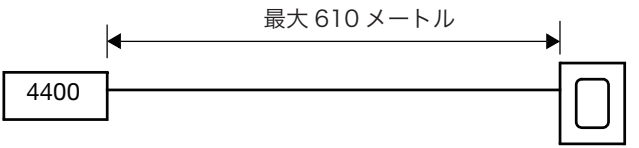
その他必要な追加機器（別売品）



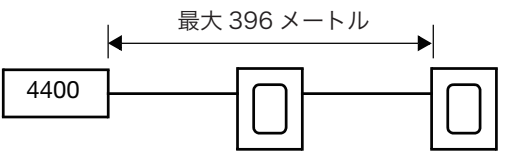
*FreeSpace® 4400 システム AVM 2 ゾーンコントローラーの場合は、RJ45 コネクターが 2 個、カテゴリー 5 ケーブルが 2 本必要になります。

推奨ケーブル長

ウォールプレート 1 枚で
カテゴリー 5 を使用

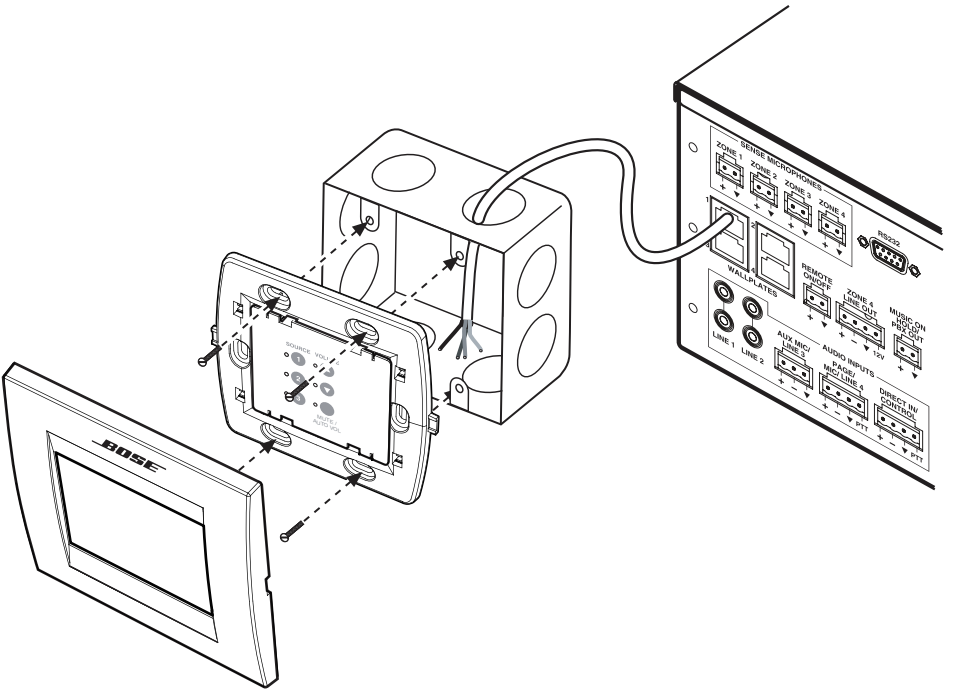


ウォールプレート 2 枚で
カテゴリー 5 を使用



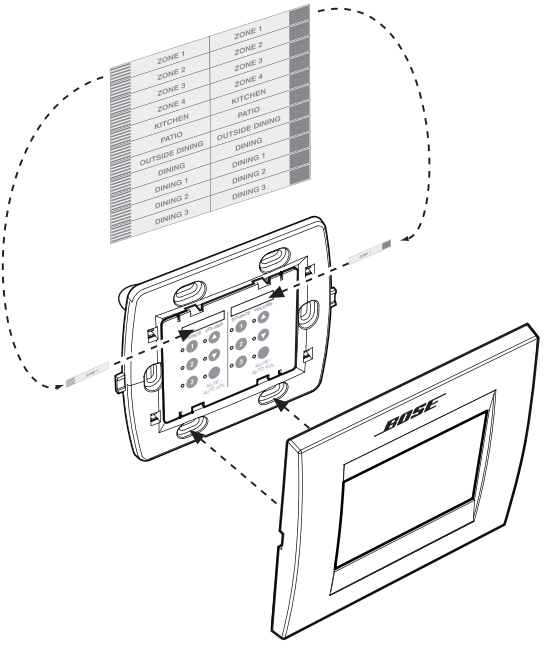
注意：直列に接続できるコントローラーは 2 台までです。

Assembly

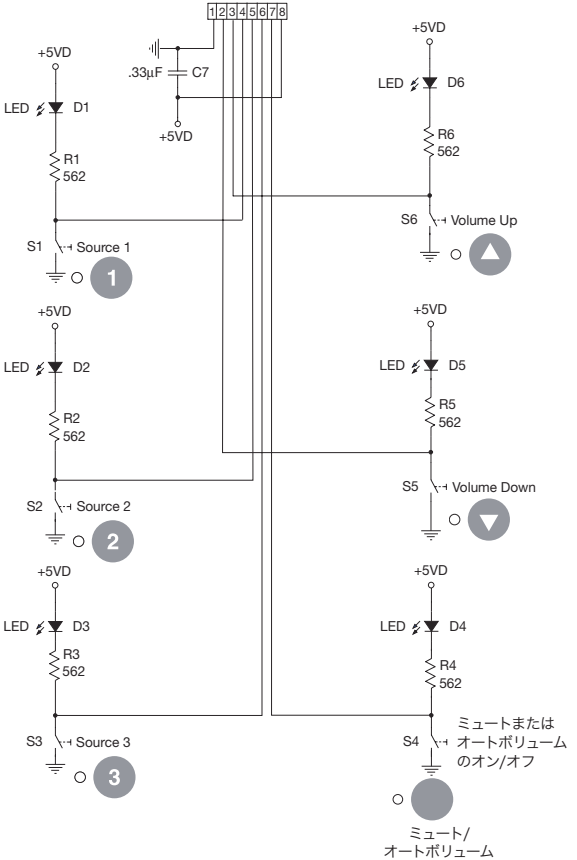

BOSE
SOURCE VOLUME
BALANCE / AUDIO SEL
ZONE 1
ZONE 2
ZONE 3
ZONE 4
SENSE MICROPHONES
RS232
WALLPLATES
REMOTE ON/OFF
ZONE 1 LINE OUT
MUSIC ON PRIORITY OUT
12V
LINE 1
LINE 2
AUX MIC/ LINE 3
AUDIO INPUTS
PAGE/ MIC/LINE 4
DIRECT/ INTERCOM
PTT

*Assembly**

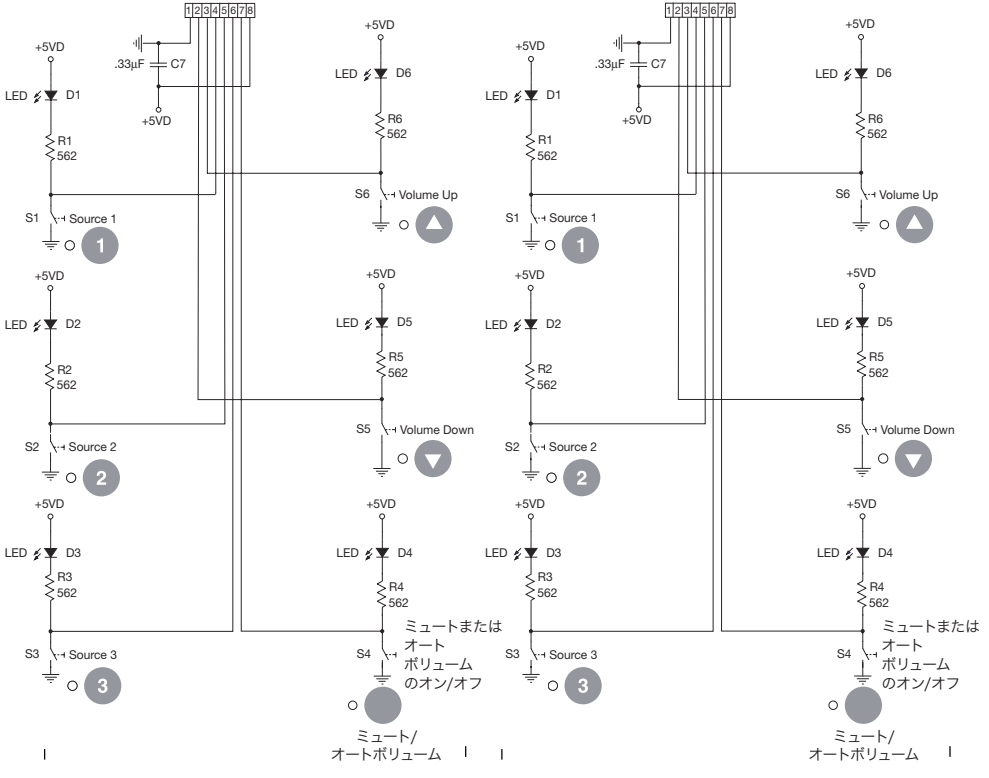
AVM 2 ゾーンコントローラーのみ



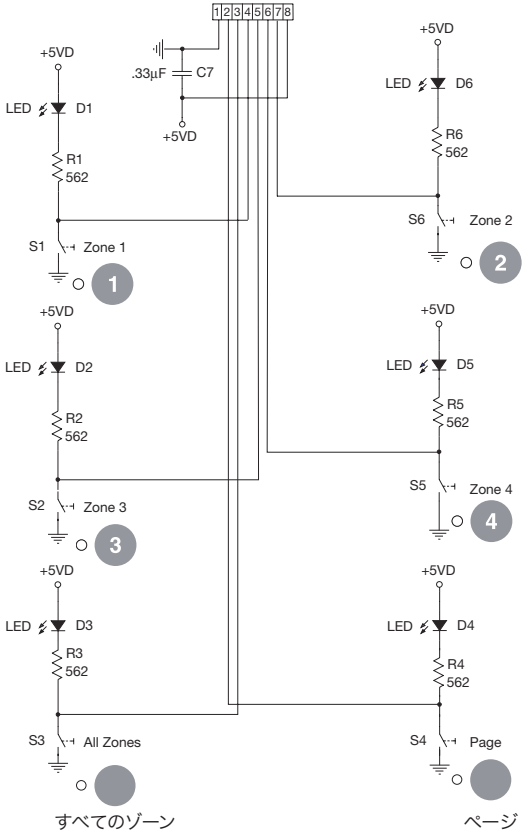
ユーザーインターフェイス回路図 - AVM1 ゾーンコントローラー



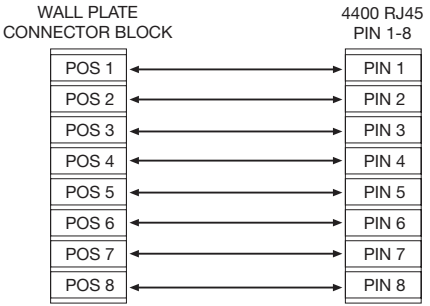
ユーザーインターフェイス回路図 - AVM 2 ゾーンコントローラー

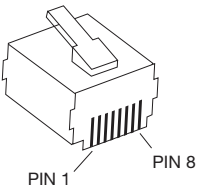


ユーザーインターフェイス回路図 - Page（ページング）コントローラー

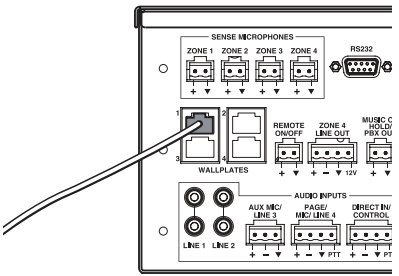


施工する方への注意：接続には、標準のイーサネットケーブル (カテゴリー 5) を使用して、FreeSpace® 4400 システム本体に接続してください。クロスオーバーケーブル (XOV) は使用しないでください。





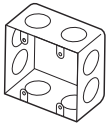
AVM コントローラーからのケーブルをそれぞれのゾーンに該当する本体背面の WALL PLATES ジャックに接続します。



Using a junction box

コントローラーごとに 2 連アウトレットボックスを 1 つ取り付けます。

- 図のように垂直に取り付けます。



- コントローラー使用者にとって使いやすいようにボックスの取付場所を選びます。

- アウトレットボックスは、壁面よりわずかにくぼんだ状態か、面一になるように取り付けます。

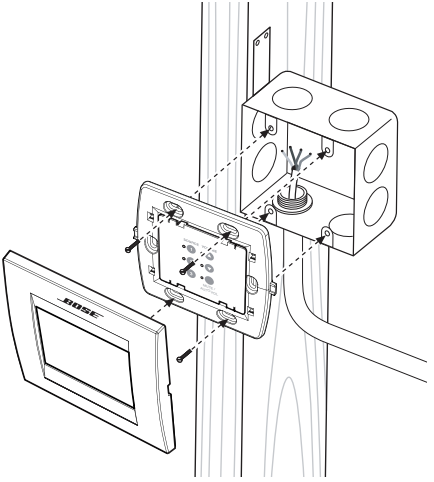
注意 : コントローラー（FreeSpace® 4400 System AVM 1 ゾーンコントローラー、FreeSpace® 4400 System AVM 2 ゾーンコントローラー、または FreeSpace® 4400 System Page コントローラー）は、AC 電源のアウトレットボックスには取り付けないでください。

注意 : 電源ケーブルとコントローラーを接続しているケーブルは同じ導管内に通さないでください。

Mounting

結線が完了したら、コントローラーをアウトレットボックスに取り付けます。
ネジが 2 セット入っています。お使いのアウトレットボックスに適したネジを使用します。
ネジは M4 を使用します。

注意 : ネジを締めすぎないようにしてください。締めすぎるとフレームが破損することがあります。

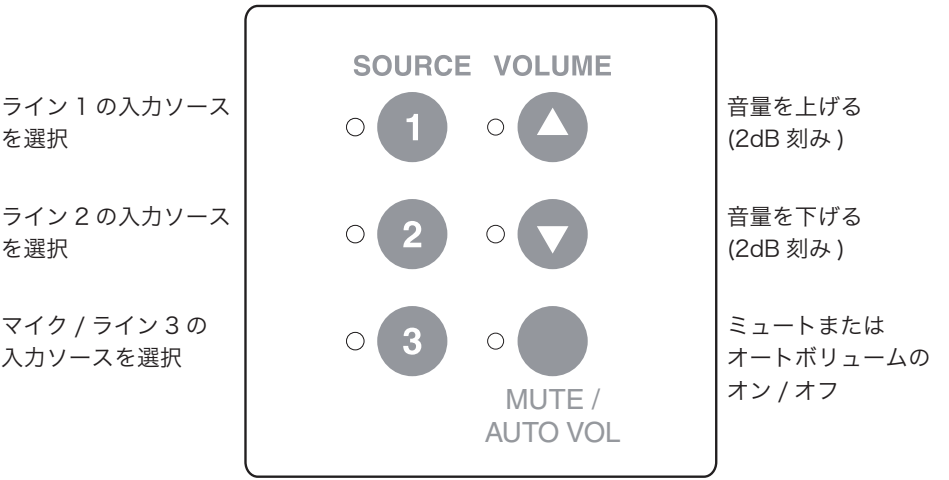


コントローラーのキーパッドをアウトレットボックスにネジ止めしたら、ウォールプレートをパチンと留めます。
ウォールプレートを外すには、マイナスドライバーの先端をカバー両側の溝に差し込みます。

AVM (Auto Volume/Mute) User Interface Operation

FreeSpace® 4400 System AVM 1 ゾーンコントローラーおよび FreeSpace® 4400 System AVM 2 ゾーンコントローラーには、ソースの選択、ボリュームの上げ下げ、ミュートまたはオートボリューム機能オン / オフを行うことができます。

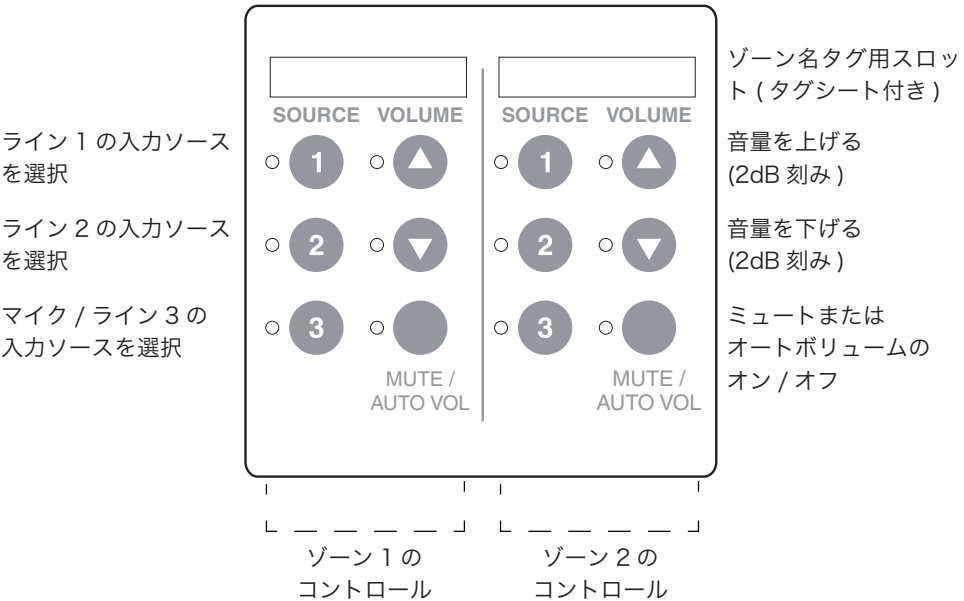
FreeSpace® 4400 System AVM 1 ゾーンコントローラー



AVM (Auto Volume/Mute) User Interface Operation

FreeSpace® 4400 System AVM 2 ゾーンコントローラーには、ソースの選択、ボリュームの上げ下げ、ミュートまたはオートボリュームのオン / オフを行うコントロールが 2 組あります。

FreeSpace® 4400 System AVM 2 ゾーンコントローラー



AVM (Auto Volume/Mute) User Interface Operation

- **1**、**2**、**3** を押して、それぞれ LINE 1、LINE 2、LINE 3 入力に接続するオーディオソース（音源）を選択します。緑の LED が接続されているソースを表しています。
- ▲（音量を上げる）または▼（音量を下げる）を押して、ボリュームを 2 dB ずつ増減します。連続的に音量を上げる / 下げる場合は、それぞれのボタンを長押しします。いずれかのボタンを押しているときに、赤い LED が点灯します。
- 音量設定の上限 / 下限は、Output Gain（出力ゲイン）コントロールパネルの最小 / 最大ゲイン設定で決定されます。

標準操作の設定時 :

- MUTE / AUTO VOL（MUTE/AUTO VOL）を押して、受聴エリアをミュートします。ミュート時は、黄のLEDが点滅します。このボタンを再び押すと、ボリュームが回復します。

オートボリューム操作の設定時:

- MUTE / AUTO VOL（MUTE/AUTO VOL）を押して、オートボリューム機能をOn/Offにします。オートボリュームが On の状態では、黄のLEDが点灯します。
- オートボリューム機能が On のときに ▲（音量を上げる）もしくは▼（音量を下げる）を押すと、オートボリューム機能は Off になります。もう一度オートボリューム機能を On にするには、MUTE / AUTO VOL を押します。

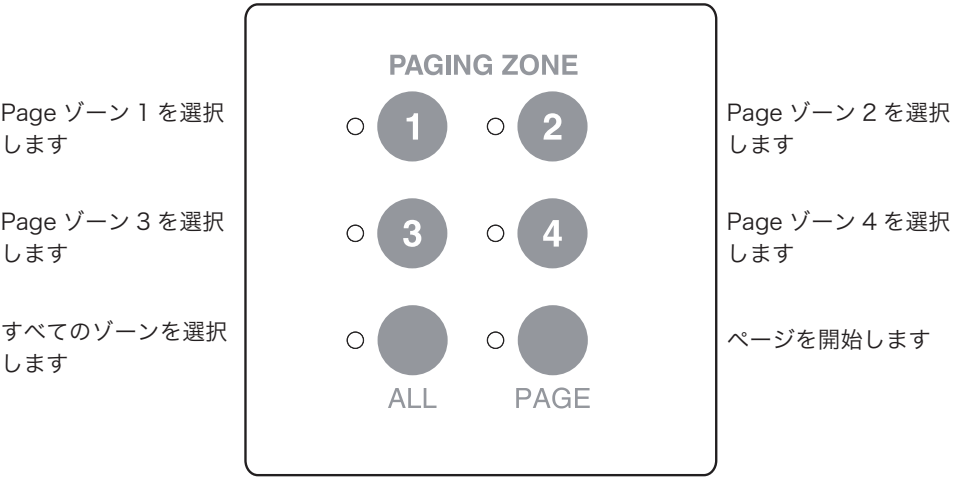
注意：コントローラーを使用してオートボリュームを再びオンにすると、システムは音量を最小に戻します。最小の音量設定は FreeSpace® 4400 Installer™ ソフトウェアを使用します。

Page User Interface Operation

Page コントローラーには、特定のページング（呼び出し）ゾーンと全ページングゾーンの選択、ページング（呼び出し）機能を動作させるためのキーがあります。

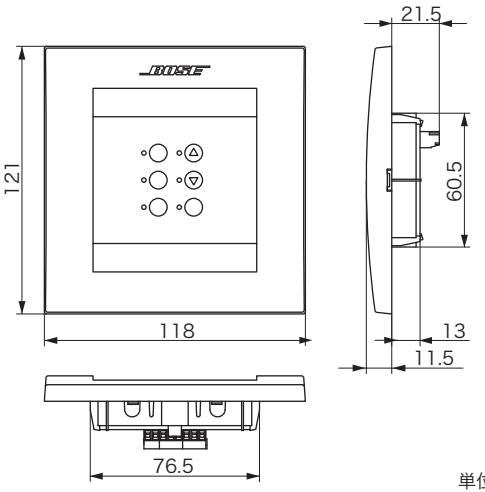
ページングゾーン 1 ボタンを押すと、PAGE ソースが割り当てられた出力ゾーン（Page ゾーン）で最も数字の小さいものが選択されます。ページングゾーン 2 ボタンを押すと、PAGE ソースが割り当てられた出力ゾーン（Page ゾーン）で、次に数字の小さいものが選択されます。

Page コントローラー



- **1**、**2**、**3**、**4** を押して Page ゾーンを選択します。緑の LED が点滅して、ページングのゾーンが選択されていることを示します。ページが終了すると、LED が消えます。
- **ALL** を押すと、すべての Page ゾーンが選択されます。
- **PAGE** を押すと、PTT（プッシュトゥートーク）マイクロホンを使用しないシステムでページング機能が動作します。

Dimensions



単位:mm

注意：Bose® FreeSpace® 4400 System AVM 2 ゾーンコントローラーおよび FreeSpace® 4400 System Page コントローラーは、上記の FreeSpace® 4400 System AVM 1 ゾーンコントローラーと同一寸法です。

保証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　サービスセンター　　お客様専用ナビダイヤル 0570−080−023
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。

〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　ユーザーサポートセンター　　お客様専用ナビダイヤル 0570−080−021
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

までご連絡ください。

ボーズ株式会社　http://www.bose.co.jp/
〒150-0036　東京都渋谷区南平台町16 -17 渋谷ガーデンタワー 5階

BOSE
Better sound through research

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品は、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1394-D
13・01 (B)